

震災メモリアルパークで、震災被災地の子供たちの笑顔がプリントされた傘を開く参加者＝神戸市中央区、新井義顕撮影



被災地の子 笑顔満開

神戸でメリープロジェクト

神戸や中国・四川など大地震の被災地で撮影した子供たちの笑顔をプリントした傘を広げ、街を歩くイベントが9日、神戸市中央区であった。大学生ら約50人が神戸港から北野の異人館まで歩いた。

元氣な被災地の姿を知ってほしいと、NPO法人「メリープロジェクト」(東京都)の代表でアートディレクターの水谷孝次さん(59)が2008年に始め、広島、長崎、沖縄などで開催してきた。

神戸での撮影は01、02年。人工島ポートアイランドのひまわり畑で笑顔を見せた子どもの一人、神戸市兵庫区の中学校2年生、近藤穂花さん

16年前の地震後に生まれた穂花さんは「お母さんから震災の話はよく聞く。でも、あんまり実感はないんです」。毎年1月17日には家族全員で神戸市中央区の「慰霊と復興のモニュメント」に足を運ぶという。